

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員:4名回答、回答率 100%

保護者様:27名回答、回答率 81.8%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・法令で定められた人員配置基準を満たして運営を行うことができている。
- ・近隣教室と連携をとって送迎を行い、日々最適な配置のもと支援にあたるよう工夫している。
- ・発達支援室は見通しが良く、整理整頓や清掃など日々の環境整備にも努めている。
- ・感染症対策として、定期的な換気を心がけている。
- ・職員は男女バランスよく配置できており、排泄介助においては、同性介助を徹底することができている。

### ○業務改善

- ・業務前MTGの時間が取れない場合は、業務後にMTGを実施している。支援の振り返りを行い、職員間での意見交換や支援の方向性を話し合うタイミングを設けている。
- ・チャットを活用した教室内の情報共有を行い、円滑に業務が進められるよう工夫している。保護者への連絡事項や確認事項についても日々のミーティングで確認して、漏れがないよう対応している。
- ・アンケート調査や自己評価の結果については、ニュースレターやホームページを通して公開している。

### ○適切な支援の提供

- ・個別支援計画を適切に作成し、それに基づいた支援を職員全員で行っている。
- ・面談時や、送迎時に保護者のニーズを把握し、利用者のレベルに合わせた支援を行っている。
- ・職員間で話し合いながら毎月のプログラムを決め、固定化しないように工夫している。
- ・土曜日や長期休みには、課外活動や調理活動も積極的に取り入れ、利用者に様々な経験をしてもらえるように取り組んでいる。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・送迎時や面談時に、利用者の様子を細かく伝えるようにしている。
- ・進学に伴って法人内他事業所(中高生への支援が中心であるジュニア教室)へ移行する際には、移行先のジュニア教室と連携をとり、密な情報共有を行っている。
- ・相談支援機関と常に連携し、情報共有や社会資源の活用を保護者にもお伝えしている。

### ○保護者への説明責任等

- ・怪我や事故発生時にはマニュアルに基づいて適切に対応を行い、情報の過不足なく保護者への説明ができています。
- ・毎月ニュースレターを通して、次月の集団療育内容をお知らせしている。
- ・契約時には、丁寧に重要事項を説明し、同意を得てから利用していただいている。

### ○非常時等の対応

- ・安全計画に沿って月1回の避難訓練を行っている。災害だけでなく、車内置き去りや不審者対策についてもテーマ設定を行い、利用者がわかりやすいように避難方法を周知したり、訓練を行っている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

- ・環境面についてはほとんどのご家庭から安心の声をいただいた。
- ・一方で十分なスペースが確保できているかの問いに対して「日々の活動の様子を見ていないので、わからない」とのご意見もあった。療育参観の実施などで実際に見てもらう機会を作ることで、保護者の安心につなげられるようにしたい。

## ○適切な支援の提供

- ・支援計画の内容や活動プログラムに対しては、多くの方からよい評価をいただくことができた。
- ・「支援の詳細が分からない」という意見もいただいたため、ニュースレターだけでなく、写真や療育参観を通して、支援内容を実際に見てもらう機会を作っていく必要がある。

## ○保護者への説明等

- ・利用前の契約内容や支援内容についての説明は、十分になされているという結果であった。
- ・「報酬改定によって利用者負担などが複雑になってきたように思うため、よくわからなくなっている」という意見を追加でいただいた。保護者への周知方法について改善、工夫を検討していく。
- ・保護者会やペアレントトレーニングについては、十分な評価が得られなかったため、今後の改善項目としてあげていきたい。

## ○非常時等の対応

- ・概ね満足いただけている結果ではあったが、「実施されているか分からない」という意見も複数いただいたため、周知の方法や周知頻度については見直しを行っていく必要がある。

## ○満足度

- ・子どもは通所を楽しみにしているかという問いにはほぼすべての家庭から「とても楽しみにしている」との評価をいただくことができ、事業所への満足度が高い結果となった。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・保護者のニーズ、状況に合わせた保護者会を開催（オンラインでも検討中）し、保護者同士の繋がりをつくる機会を増やしていく。
- ・現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。
- ・学校や他事業所等との情報交換にも力を入れ、それぞれの課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所の対応を考え、提供していく。
- ・場所や時間帯を工夫し、外出、調理プログラムの実施機会を増やしていくことを検討していく。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会や療育参観については、計画や準備が不十分のため、実施ができなかった。
- ・談支援員の訪問、保護者からの相談支援件数も増え、関係機関との連携はこれまで以上に強化することができたと感じている。
- ・発達段階や特性を踏まえて支援計画をたて、家庭とも共有し、家庭と方向性を揃えて支援にあたることができた。
- ・土曜日や長期休みを利用して、課外活動や調理活動をたくさん実施することができた。外出先や内容が固定化しないように、他事業所やご家庭からも情報を拾い、バリエーションを増やしていきたい。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・面談時だけでなく、送迎時やサービス提供記録を通して、日頃の児童の教室の様子を細やかにお伝えしたり、学校やご家庭での様子を共有していただくことで、家庭との連携を密にとることができている。
- ・児童1人ひとりの趣味や好きなことについて把握し、それに合わせた日々のコミュニケーションを行ったり、活動企画を行ってきたこともあり、「もっと通所したい」、「支援に満足している」という声を多くいただいている。

### ○改善点

- ・緊急時や災害時の対応について、マニュアルの周知方法や頻度の見直しを行っていく。
- ・課外活動や調理活動の内容が固定化しないように情報収集を行う。
- ・療育参観など保護者様参加の機会がなかったことで、支援内容について保護者様が分からない状況ができていたため、利用者様の様子が分かるような療育参観を開催していく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・子どもたちや保護者のニーズをしっかりと拾い、課外活動や調理活動などの企画に活かし、様々な活動企画をもって引き続き満足度の高い事業所運営を行っていけるようにする。
- ・緊急時や災害時の対応についての周知を行っていく。
- ・保護者会や療育参観を定期的に行って行くことで、保護者同士の交流の機会を提供したり、開かれた事業所作りを行っていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・子ども会議を通して、児童たちのやりたいことや好きなことなどを汲み取り、活動に反映させるなどし、活動内容の充実化を図る。法人内他事業所での活動企画内容などの情報収集を行い、課外活動の外出先のバリエーションを増やしたり、調理活動のメニューを拡げるなどし、活動が固定化されない工夫も継続して行っていく。
- ・緊急時や災害時の対応について、お便りでの周知だけではなく、保護者会での口頭説明などを行っていたり、ニュースレターを通して安全計画に基づく訓練の実施報告なども行って行く。
- ・まずは年1回ずつから保護者会と療育参観を企画し、開催していく。年度初めに計画をたて、担当者を決めて実施していく。オンラインでの実施も検討し、多くの方に参加いただけるよう工夫する。